

滋賀次世代文化芸術センター

滋賀次世代文化芸術センターは、民間、文化施設、学校、行政との連携・協働のもと、滋賀県文化振興基本方針の重点施策に掲げられている「子ども・若者が本物の文化に触れる機会の充実」の取組を具体化し、文化芸術体験学習プログラムが量的・質的に県全域へ広がることを目指す中間支援組織として、平成23年4月に発足しました。「全ての子どもたちに、本物の文化芸術に触れる体験の機会をつくることで、豊かな心を育てる」を理念に、美術館・博物館・文化ホール、芸術家と学校とを繋いで、文化芸術に触れる体験授業＝「文化芸術連携授業」を支援しています。センターでは、学校の希望する学習内容に合った文化施設・芸術家をつなぎ、学校と文化施設・芸術家等の意向を調整、授業内容の検討・準備から授業当日までをトータルにコーディネートします。また、文化芸術連携授業を支えるコーディネーターやボランティアなどの人材育成のほか、行政や文化施設等への提案による事業の企画・運営、大学や教育委員会等との共同研究などに取り組んでいます。

今も変わらない学校側の悩み

「子どもたちに本物の文化芸術体験をさせたい」という気持ちはあるが…

- 学校の授業時間、カリキュラムの中で どう取り入れられるか
- 信頼できる文化施設や芸術家は どう探したらいいの
か、気軽に声をかけられない
- 学校に講師謝礼など予算がない
- 日々忙しいので手を煩わせられたくない

センターは文化施設、芸術家と学校との意向を調整し、授業をコーディネートします。また、授業当日は、複数のスタッフが、子どもたちの支援をします。授業当日までをトータルで支援する中間支援組織です。



次世代文化芸術支援体制

